

経営工学基礎エリア

エリアの概要

経営工学基礎エリアは、経営工学に共通する基礎的なエリアとして、経営工学の根幹をなす 6 科目で構成されている。

科目構成

科目名	概要	標準履修年次
マーケティング	企業が存続成長していくために、マーケティングの重要性は今まで以上に増している。マーケティングとその基本的プロセスを体系的に学修するとともに、マーケティング的発想を消費者行動やマーケティングリサーチの視点から学んでいく。	2～4年
経営管理論	企業（株式会社）の目的・制度的枠組み・運営の実際などを学習しながら、理論と実践の両面から、体系的に経営学、組織論、戦略論の基礎を学ぶ。授業を通して企業とは何かを深く考える機会を提供するとともに、企業のみにとどまらず組織を運営する際の基礎的な理論・方法論の習得を目指す。	2～4年
データ解析	統計学の内容を踏まえて、データをいかに解析するかを学ぶ。理論の講義と統計パッケージを用いた実習を併行して進める。統計理論を生きた知識として使えるようにするのがこの授業の目的である。	2～4年
応用確率論	初歩的な確率の考え方と計算技術を習得する。確率空間、連続および離散的確率分布、積率母関数とモーメント、同時確率分布と条件付き確率、大数の法則、中心極限定理などをカバーする。	2～4年
数理統計学	多変量データを素材として、数理統計学の基礎的知識を学ぶ。	2～4年
経営工学基礎演習	経営工学的に興味深いテーマに取り組む。 前半：同時購入歴やブログ参加者ネット、企業の提携関係等のネットワークの可視化と分析。 後半：生産・品質管理のシステムやソフトウェア設計。	2～4年（但し、3・4年生優先）

